

協働の指針とは？

➡ 協力してまちづくりを推進するために、基本原則などを示す、共通認識のコンパス。

1. なぜ「協働」が必要なのか？

- ・ 市民ニーズの多様化により、行政だけでは対応が困難になっている。
- ・ 地方分権の発展により工夫すれば宝塚市らしい豊かな地域社会を構築することが可能。

実現するには…



「市民主体のまちづくり」と「協働」がまちづくりの基本であることを認識したうえで取り組みを進めていく必要がある。

2. 協働とは？

市民と行政がそれぞれの役割や責任を分担しながら、企画から実施、評価まで一緒に取り組むこと。



市民のすること、行政のすることという既成概念を取り払い、互いに出来ることを分担して行う。

3. 協働の原則 ～「協働」で事業を円滑に進めるために、守るべき8つの原則～

- ① **対等の原則**
各主体間の能力や資源の違いに関わらず、対等な関係での立場や意見の尊重
- ② **情報公開・情報共有の原則**
地域の課題や活動情報などのまちづくりに関する情報の地域への公開と共有
- ③ **相互理解の原則**
各主体のそれぞれの立場や違いを認め、相互理解を深め、信頼関係を大切にする
- ④ **自主性・自立性尊重の原則**
各主体の力を最大限活かすためのそれぞれの自主性・自立性の尊重
- ⑤ **目的の明確化と共有の原則**
協働しようとする事業の目的の明確化と共有
- ⑥ **役割分担の原則**
果たすべき役割や責任の調整と役割分担により、事業の目的を達成できるように取り組む
- ⑦ **相互変革の原則**
互いに話し合い理解しあって、自己変革をいとわないで活動する
- ⑧ **評価・検証の原則**
協働で取り組んだ事業の成果と課題の評価・検証とその結果の共有